

第17回 たじみ子ども会議

胎児が見えちゃう? ダメよ〜ダメダメ!

意見書

平成27年3月

たじみ子ども会議

もくじ

◎ はじめに

◎ 意見

◎ たじみ子ども会議☆子どもスタッフ名簿

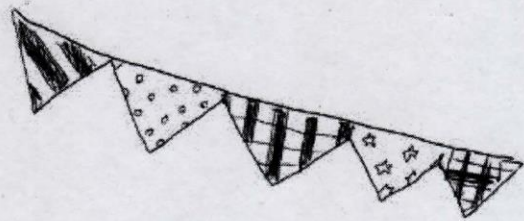
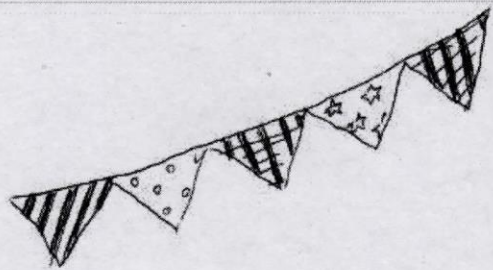


《はじめに》

今回のテーマを「多治見市が、30年後に消えてしまうという「消滅可能性都市」と発表されました。私たちは、そのことを聞いて強い危機感を抱きました。

多治見市が、30年後に消えてしまうという「消滅可能性都市」と発表されました。私たちは、そのことを聞いて強い危機感を抱きました。

多治見市を消滅させないためには、多治見市民である私たちがここに住み続けることです。しかし、多治見市民は2010年で、約11万6千人から2035年には約20%減って、約9万3千人になる見込みがあります。さらに、働く人、子どもが減っていく一方で、65才以上のお年寄りが増え、全国の割合よりも多治見で生活したいと思えるような、また、多治見がより良いと思っような、ようにするには、みんなが話し合いました。大まく分けると、この意見が反映されることを願います。



意見



誰もが住みやすいまち 人と人とのつながりがある多治見市

バリアフリー

- ・ 段差をなくし、お年寄りも安心して暮らせるまちに。
- ・ 障害を持っている人も安全に暮らせるまち
- ・ スロープをつくる。
- ・ 多治見に住み続けるための環境
- ・ 道の整備
- ・ 街灯をたくさん設置してほしい

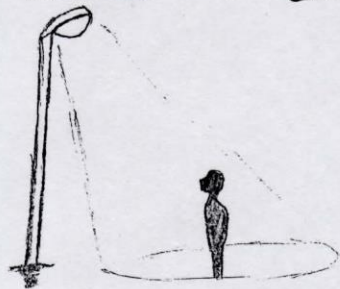
多治見市は住宅地などにも坂が多く
お年寄りが苦勞する人が多々あるので

スロープを設置、手すりを設置する

車が通れないところをせまい急坂を広げる

路面の危裂や凸凹を舗装し直す
白線を書き直す

暗い夜道には電灯をつける安全性を向上させる



多治見のよさ＝陶器のよさをアピール

- 陶器の話題性のあるイベント(陶器作り大会)
→ みんなが新しい陶器を買う
 - 多治見駅周辺に陶芸の体験ができるところをつくる→美濃焼を広める
 - 永保寺とコラボしてなにかサービスしてはどうか(お茶会など)
- ↓
- 話題性のあるイベントで人を集める
商売の繁盛
 - 駅は多治見に遊びに来た人が注目しやすい。
また、体験することで身近に感じることが出来る。美濃焼が広がる。
 - 永保寺という多治見のよさがあり、陶器を使ったイベントをすることで、多治見のよさも、陶器のよさもアピールできる。

話題性のあるイベント

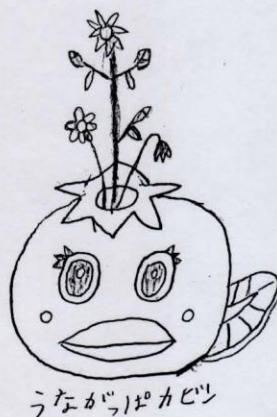
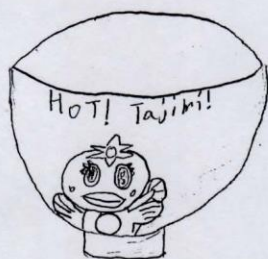
で
人が集まる

→ 多治見や陶器の
存在を知ってもらう。

↓
・「お客さん」から
「市民」になってくれる。

・「お客さん」でも
陶器を買ってくれる。

↓
経済の活性化！



子育て支援

子育てしやすい環境

- イクメン
- 保育所（職場に）
- 子どもを預かってもらえる所



育児がしやすい
↓
子どもを産みやすい
↓
人口が増える
家族で長く住める

医療費無料

- 条件付きにする



母子家庭、父子家庭のみ

子育て支援に力を入れることで、若い人が
増え、労働力が増える。

それによって、消滅都市になる事を防ぐ
手立てとなる。

たじみ子ども会構子どもスタッフ

平成 27 年 3 月現在



【子どもスタッフ】

青井 里帆 (高3)	安田 雛凧 (高1)
柚木崎 智宏 (高1)	石川 夏音 (高1)
佐伯 怜央 (中3)	宮本 梨央 (小4)
山口 将司 (高3)	牧田 萌百花 (小4)
山口 朱音 (中3)	丸井 珠莉 (小4)
池庭 大翔 (中2)	大島 琉心 (小4)
飯村 尚真 (中1)	野上 里穂 (高1)
堀井 寧公 (中1)	熊本 佳祐 (小6)
水野 優香 (中3)	長谷川 慶乃 (小5)
寺澤 未歩 (中3)	渡辺 楓 (高1)
田中 凌太郎 (中3)	亀山 愛華 (小4)
佐伯 花恋 (小6)	若井 萌恵 (小5)
鈴木 花園 (中1)	田中 健次郎 (中2)
丸井 絢捺 (小6)	
今井 大輝 (中1)	
水野 玲香 (小5)	

カムバックサーモン!!

脱滅可能性
都市!!

救
いた
いー

私は
刃
治
見
を

